

## 萩市の給与・定員管理等について

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

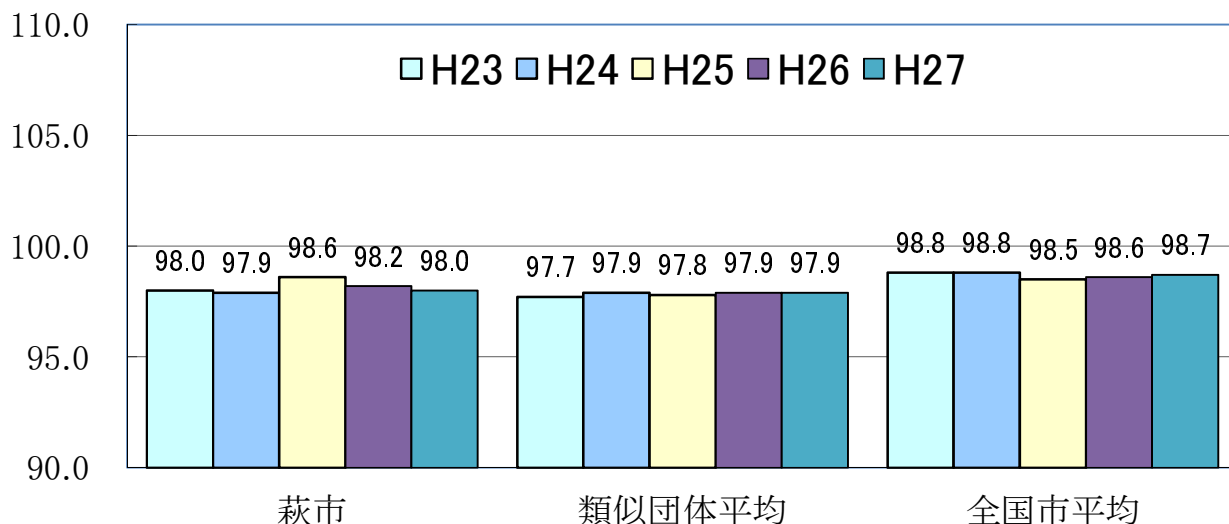
区分	住民基本台帳人口 (平成27年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 25年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
平成 26年度	51,587	36,608,429	327,401	5,992,705	16.4	17.1

#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 B 千円		
平成 26年度	639	2,592,845	451,297	992,569	4,036,711	6,317	5,989

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

#### (3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。  
 3 平成25年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

(4) 給与改定の状況

①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)	
平成 26年度					

(参考) 国の改定率 %
0.36

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)	
平成 26年度					

(参考) 国の年間 支給月数 月
4.20

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[ 実施 未実施]

実施内容 (平均引下げ率、実施 (実施予定) 時期、経過措置の有無等具体的な内容 (未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日  
 (内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、月例給では1級初任給を2,500円引上げ、若年層についても同程度引上げ、その他の職員については、1,100円の引上げを基本に改定を実施。期末勤勉手当においては、0.10月分引上げを実施。また、医師の処遇を確保するとの観点から初任給調整手当の引上げを実施。

②地域手当の見直し  
 実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）国基準3%に対し、萩市においては東京都特別区を2%、大阪市を1%、医師を1%引上げて支給。  
 （実施時期）平成28年4月1日より実施。

（参考）

	平成26年度の 支給割合	平成27年度の支給割合		見直し後の支給割合 (H28.4.1)
		4月1日時点	遡及改定後	
国基準による 支給割合	0%	0%	0%	3%
萩市の 支給割合	0%	0%	0%	1%~2%

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)  
 単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成28年4月1日実施)

(5) 特記事項  
 なし

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成27年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
萩市	45.9 歳	349,099 円	413,480 円	376,462 円
山口県	43.3 歳	333,258 円	419,584 円	374,044 円
国	43.5 歳	334,283 円	-	408,996 円
類似団体	42.3 歳	319,936 円	394,984 円	355,183 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	A/B
萩市	52.3歳	55人	317,121円	336,187円	326,075円				
うち 清掃職員	55.7歳	4人	351,750円	385,175円	372,000円	廃棄物処理業	44.9歳	289,500円	1.33
うち 学校給食員	51.9歳	22人	320,679円	335,525円	327,929円	調理士	45.1歳	216,000円	1.55
うち 用務員	39.1歳	1人	-	-	-	用務員	54.6歳	200,300円	
うち 運転手	53.5歳	6人	315,532円	337,918円	329,116円	自家用乗用自動車運転者	62.7歳	221,600円	1.52
うち その他	52.3歳	22人	309,327円	329,964円	317,077円				
山口県	51.6歳	260人	330,741円	386,250円	363,809円				
国	50.2歳	2,994人	289,141円	-	328,318円				
類似団体	50.0歳	32人	317,404円	355,113円	338,663円				

区分	参考		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
萩市	5,367,630円		
うち 清掃職員	6,190,130円	3,952,300円	1.57
うち 学校給食員	5,346,020円	2,913,400円	1.83
うち 用務員		2,774,400円	
うち 運転手	5,430,317円	3,096,900円	1.75
うち その他	5,260,804円		

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成23年～25年の3ヶ年平均)  
 ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。  
 ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③教育職(山口県)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
萩市	歳	円	円
山口県	歳	円	円
類似団体	歳	円	円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成26年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況 (平成27年4月1日現在)

区 分		萩市	山口県	国
一般行政職	大学卒	176,700 円	184,300 円	174,200 円
	高校卒	144,600 円	149,500 円	142,100 円
技能労務職	高校卒	139,500 円	141,900 円	—
	中学卒	131,500 円	— 円	—
教育職	大学卒	— 円	205,900 円	—
	高校卒	— 円	160,200 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (平成27年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	276,909 円	350,031 円	378,675 円	418,473 円
	高校卒	274,075 円	324,250 円	357,214 円	394,017 円
技能労務職	高校卒	— 円	294,325 円	326,356 円	314,983 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円
教育職	大学卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	高校卒	— 円	— 円	— 円	— 円

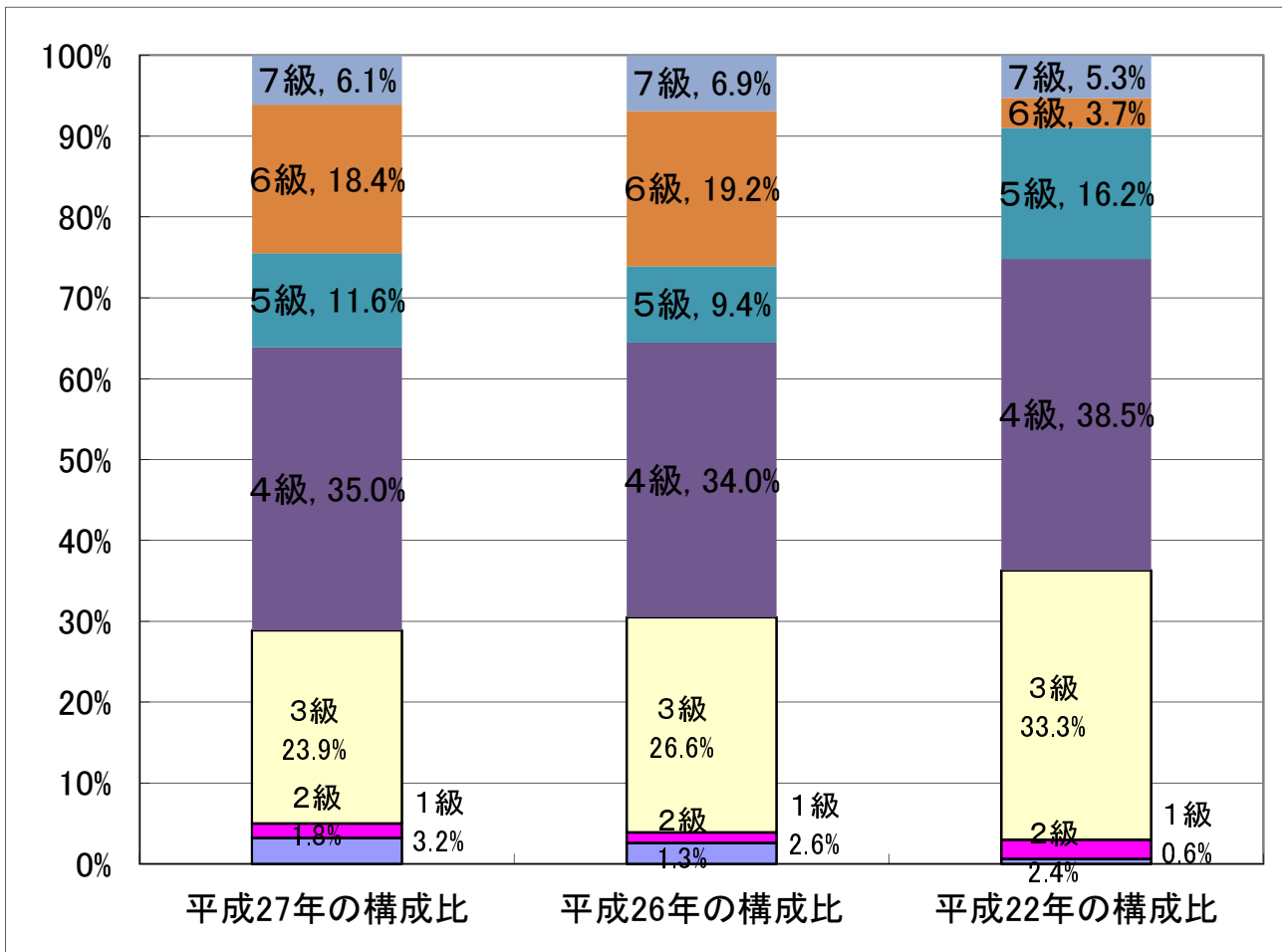
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成27年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	定型的な業務を行う職務	14 人	3.2 %	140,100 円	246,100 円
2 級	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	8 人	1.8 %	190,200 円	303,000 円
3 級	主任の職務	105 人	23.9 %	226,400 円	348,800 円
4 級	係長の職務	154 人	35.0 %	259,900 円	379,800 円
5 級	課長補佐の職務	51 人	11.6 %	286,200 円	391,800 円
6 級	課長、部次長の職務	81 人	18.4 %	317,000 円	409,000 円
7 級	部長の職務	27 人	6.1 %	361,300 円	443,700 円

(注) 1 萩市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(1) 期末手当・勤勉手当

萩市（一般行政職）	山口県	国
1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,530 千円	1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,696 千円	—
(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分 勤勉手当 1.35 月分 ( 0.65 )月分	(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分 勤勉手当 1.50 月分 ( 0.70 )月分	(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分 勤勉手当 1.50 月分 ( 0.70 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

**【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況（一般行政職）**

人事評価制度の試行中であるため、人事担当者と監督職員との面談により、口頭による成績の証明を得ています。

(成績率)

100分の150の範囲内

**(2) 退職手当（平成27年4月1日現在）**

萩 市（一般行政職）			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	27.405 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
・定年前早期退職特例措置(2%~45%加算)			・定年前早期退職特例措置(2%~45%加算)		
1人当たり平均支給額	6,430 千円	21,858 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

**(3) 地域手当（平成27年4月1日現在）**

支給実績(平成26年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)		0 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
東京都特別区	18 %	2 人	18 %
大阪市	15 %	0 人	15 %
医師	15 %	0 人	15 %
地域手当補正後ラスパイレース指数 (ラスパイレース指数)			98.0 (98.0)

(注) 地域手当補正後ラスパイレース指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレース指数。

(補正前のラスパイレース指数×(1+当該団体の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当 (平成27年4月1日現在)

支給実績(平成26年度決算)		27,011 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)		14 千円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成26年度)		18.2 %	
手当の種類(手当数)		18種	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
徴収事務手当	収納課に勤務する職員	専ら、市税等の徴収及び滞納処分事務に従事	月額4,000円
	総合事務所等に勤務する職員	3時間以上、市税等の徴収及び滞納処分事務に従事	日額200円
感染症予防救治手当	市民病院以外の職員	感染症の病原体に汚染された場所・物件の消毒・収容作業	日額700円
行旅病死入収容手当	福祉事務所等に勤務する職員	行旅病人の救護業務に従事	1回につき1,500円
		行旅病人の収容業務に従事	1回につき3,000円
福祉業務手当	保護係に勤務する職員	専ら、被保護世帯の訪問調査に従事	月額4,000円
	上記以外の職員	3時間以上、被保護世帯の訪問調査に従事	日額200円
	介護保険課認定調査係に勤務する職員	要介護認定事務における訪問調査に従事	月額3,000円
医学研究手当	医師	医学に関する試験研究業務等に従事	月額30,000円
	薬剤師		月額6,000円
診療所業務手当	診療所長	診療所に医師として従事	月額180,000円
用地取得等交渉手当	用地課等に勤務する職員	1時間以上、公共用地取得・損失補償等のため庁外において行う交渉業務に従事	日額300円
下水道業務手当	下水道建設課等に勤務する職員	汚水の流入している下水道の管渠内の検査に従事	日額350円
清掃業務手当	右記業務を常例とする職員	廃棄物の収集処理作業に従事	月額8,000円
	環境衛生課等に勤務する職員	4時間以上、廃棄物の収集処理作業に従事	日額300円
塩素等取扱手当	し尿処理場に勤務する職員	塩素等有害物を取り扱う業務に従事	月額2,000円
火葬業務手当		火葬業務に従事	1回につき5,000円
災害応急作業等手当		深夜、重大な災害発生箇所への応急作業等に従事	日額1,100円
		深夜以外に、重大な災害発生箇所への応急作業等に従事	日額730円
消防作業手当	消防職員	消防業務に従事	月額8,000円
火災出動手当	消防職員	機関員として火災により出動	1回につき700円
		上記以外で火災により出動	1回につき520円
救急出動手当	消防職員	救急救命士として救急業務に従事	1回につき700円
		機関員として救急業務に従事	1回につき520円
		上記以外で救急業務に従事	1回につき330円
救助出動手当	消防職員	救助出動	1回につき700円
夜間特殊業務手当	消防職員	深夜の通信業務	1当務につき410円
高所危険業務手当	消防職員	地上10メートル以上の高所において火災・救助業務に従事	1回につき220円
有害鳥獣捕獲等業務手当	有害鳥獣の捕獲等の業務に従事する職員	第一種銃猟免許を有する者	月額5,000円
		有害鳥獣の殺処分	1件につき500円
外国勤務手当	外国に駐在を命ぜられ、当該地に勤務する職員	在勤基本手当	月額 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律(昭和27年法律第93号)別表第2に定める基準額の100分の75に相当する額
		住居手当	月額 在外公館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の額、住居手当に係る控除額及び限度額並びに子女教育手当に係る自己負担額を定める政令(昭和49年政令第179号)別表第2に定める限度額の範囲内で市長が定める額
		子女教育手当	子女1人につき月額8,000円
		通勤手当	萩市一般職の職員の給与に関する条例の例により算定した



(5) 時間外勤務手当

支給実績(平成26年度決算)	160,398 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)	418 千円
支給実績(平成25年度決算)	185,695 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成25年度決算)	394 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (平成27年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成26年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に対して支給 ・配偶者 13,000円 ・扶養親族 6,500円 ・満16歳～22歳になる年度の子 5,000円加算	同じ	—	78,705 千円	241 千円
住居手当	自ら家賃を支払う借家に居住する職員に対して支給 【借家・借間】 ・家賃23,000円以下 家賃額－12,000円 ・家賃23,000～55,000円 (家賃額－23,000円)×1/2+11,000円 ・家賃55,000円以上 27,000円	同じ	—	33,838 千円	289 千円
通勤手当	通勤距離が2km以上の職員に対し、次の区分に応じて支給 【交通機関利用】 運賃相当額(55,000円以下) 【自動車等】 片道2～4km 2,000円      42～46km 34,500円 4～6km 4,500円              円 6～10km 7,100円            46～50km 36,300円 10～14km 10,300円          円 14～18km 13,500円          50～54km 38,100円 18～22km 16,700円          円 22～26km 19,900円          54～58km 39,900円 26～30km 23,100円          円 30～34km 26,300円          58～62km 41,600円 34～38km 29,500円          円 38～42km 32,700円          62～66km 43,300円	異なる	自動車等の距離区分、支給単価が異なる	60,465 千円	160 千円
管理職手当	管理、監督の地位にある職員に対して支給 ・部長相当職 62,000円 ・理事相当職 56,000円 ・部次長相当職 49,000円 ・困難課長相当職 43,000円 ・課長相当職 36,000円 ・主幹相当職 31,000円	異なる	支給額が異なる	59,272 千円	516 千円

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成26年度 決算)	支給職員1人 当たり平均 支給年額 (平成26年度 決算)
単身赴任 手当	異動によりやむを得ず単身で生活することになった職員で、赴任前の住居から勤務地までの距離が60km以上の職員に対して支給  基礎額23,000円とし、職員の住居から家族の住居までの距離が100km以上の場合は次の区分に応じた金額を加算 100～300km 6,000円 300～500km 12,000円 500～700km 18,000円 700～900km 24,000円 900～1,100km 30,000円 1,100～1,300km 35,000円 1,300～1,500km 40,000円 1,500km以上 45,000円	同じ	-	0 千円	0 千円
特勤地勤務 手当	次の勤務地への異動に伴い、住所を移転して勤務する職員に対して支給  ・見島、相島 （給料＋扶養手当）×20% ・大島 （給料＋扶養手当）×10%	異なる	区分、支給率が異なる	1,583 千円	774 千円
管理職特別 勤務手当	管理職手当の支給を受ける職員が、臨時又は緊急の必要により週休日等に勤務した場合に支給  ・部長級 8,000円 ・部次長級 7,000円 ・課長級 6,000円	同じ	-	243 千円	10 千円
夜間勤務 手当	正規の勤務時間として、深夜に勤務した職員に対して支給  勤務時間1時間につき給料の時間単価の25%を支給	同じ	-	4,438 千円	66 千円
宿日直手当	宿日直勤務をした職員に対して支給  ・一般の宿日直 4,200円 ・介護・看護の宿日直 7,200円	同じ	-	4 千円	4 千円

## 5 特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		給料月額等	
給 料	市長	820,000 円 ( )	(参考)類似団体における最高/最低額 1,000,000 円 / 440,000 円
	副市長	650,000 円 ( )	804,000 円 / 375,000 円
報 酬	議長	420,000 円 ( )	698,000 円 / 310,000 円
	副議長	345,000 円 ( )	620,000 円 / 245,000 円
	議員	320,000 円 ( )	560,000 円 / 222,000 円
期 末 手 当	市長 副市長 収入役	(平成26年度支給割合) 3.95 月分	
	議長 副議長 議員	(平成26年度支給割合) 2.95 月分	
退 職 手 当	市長	(算定方式) 報酬月額×在職年数×450/100	(1期の手当額) 14,760,000円
	副市長	(算定方式) 報酬月額×在職年数×400/100	(1期の手当額) 10,400,000円
	備 考		

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

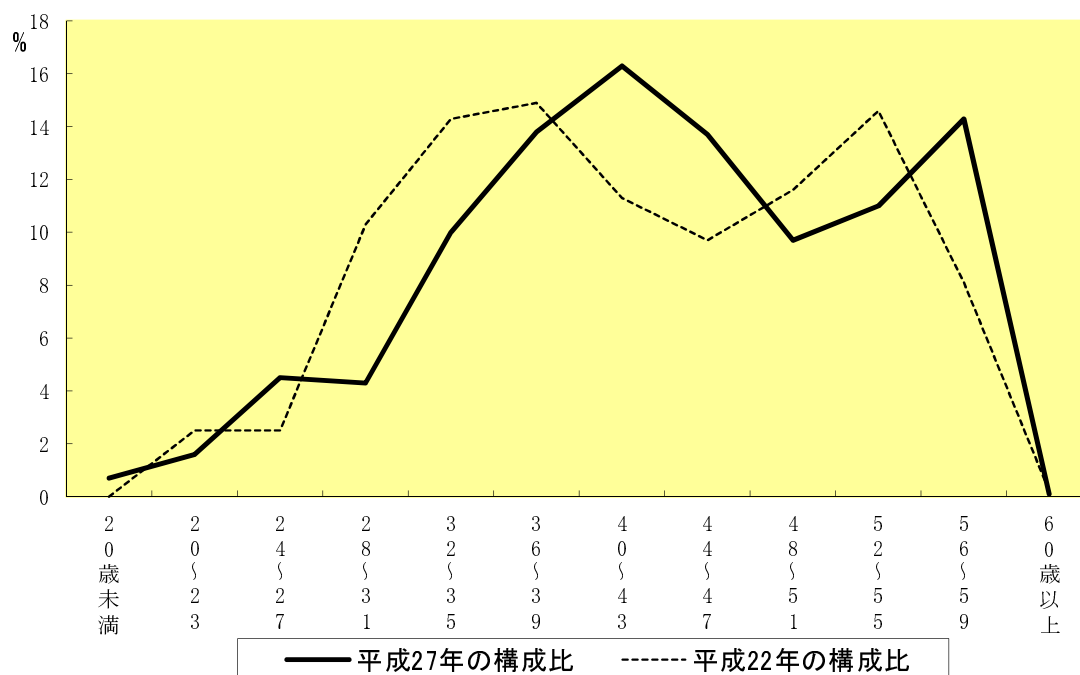
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		平成26年	平成27年		
普通会計部門	議会	5	5	0	
	総務	133	136	3	公会計、企画、市民活動部門の充実等
	税務	31	30	△ 1	税務・収納部門業務の合理化等
	労働	1	1	0	
	農林水産	49	45	△ 4	農政課、林政課の統合、技術職の集約、災害復興局業務の縮小等
	商工	23	21	△ 2	商工、企業誘致業務の合理化等
	土木	47	46	△ 1	災害復興局業務の縮小等
	民生	119	121	2	ねんりんピック、福祉部門の充実等
	衛生	39	35	△ 4	環境衛生業務の合理化、保健師の一部本庁集約
	計	447	440	△ 7	<参考> 人口1万人当たり職員数 85.29 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 53.66 人)
	教育部門	103	93	△ 10	教育委員会事務局、社会教育業務の合理化等
	消防部門	90	91	1	消防職員の新規採用
	小 計	640	624	△ 16	<参考> 人口1万人当たり職員数 120.96 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 71.58 人)
公営企業計等部門	病院	176	172	△ 4	看護師の退職、事務部の合理化等
	水道	24	24	0	
	下水道	22	17	△ 5	下水道部門業務、総合事務所業務の合理化等
	その他	42	39	△ 3	総合事務所業務の合理化等
	小 計	264	252	△ 12	
合 計		904	876	△ 28	<参考> 人口1万人当たり職員数 169.81 人
		[ 985 ]	[ 985 ]	[ 0 ]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
 2 [ ]内は、条例定数の合計である。  
 ※教育部門には教育長(1人)の人数が含まれています。

(2)年齢別職員構成の状況（27年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	6人	14人	39人	38人	88人	121人	143人	120人	85人	96人	125人	1人	876人

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部門別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	過去5年間の増減率(率)
一般行政	500人	494人	476人	465人	447人	440人	△60人 (△12.00%)
教育	111人	110人	108人	107人	103人	93人	△18人 (△16.22%)
消防	86人	87人	90人	92人	90人	91人	5人 (5.81%)
普通会計 計	697人	691人	674人	664人	640人	624人	△73人 (△10.47%)
公営企業等会計 計	263人	255人	264人	258人	264人	252人	△11人 (△4.18%)
総合計	960人	946人	938人	922人	904人	876人	△84人 (△8.75%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。(教育長を含む。)

(注) 2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成25年度の総費用に 占める職員給与費比率
平成 26年度	千円 744,047	千円 △ 5,890	千円 175,441	% 23.6	% 26.1

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
平成 26年度	人 21	千円 89,153	千円 11,603	千円 34,719	千円 135,475	千円 6,451

(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
千円 6,219

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、平成26年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

平成17年3月6日に萩市、川上村、田万川町、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村が合併。

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
萩市	46.1 歳	381,521 円	531,572 円
団体平均	44.9 歳	348,021 円	517,229 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

萩市 (水道事業)		萩市 (一般行政職)	
1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,597 千円		1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,530 千円	
(平成26年度支給割合)		(平成26年度支給割合)	
期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分	勤勉手当 1.35 月分 ( 0.65 )月分	期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分	勤勉手当 1.35 月分 ( 0.65 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成27年4月1日現在）

萩市（水道事業）			萩市（一般行政職）		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	27.405 月分	勤続20年	20.445 月分	27.405 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)			その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)		
1人当たり平均支給額	- 千円	- 千円	1人当たり平均支給額	6,430 千円	21,858 千円

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、平成25年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（平成27年4月1日現在）

支給実績(平成26年度決算)			- 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)			- 円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
該当なし	- %	- 人	- %

エ 特殊勤務手当（平成27年4月1日現在）

支給実績(平成26年度決算)		174 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)		8 千円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成26年度)		71.4 %	
手当の種類(手当数)		4種	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
塩素取扱手当	水道工務課に勤務する職員	塩素を取り扱う業務に従事	月額 2,000円
非常出勤手当		時間外又は休日に予告を受けずに非常召集された職員	1回につき1,000円
停水業務従事手当		給水の停止に従事	日額 500円
災害応急作業手当		災害等に従事	日額 730円（夜間1,100円）

※平成20年4月1日から、企業手当を廃止しています。

オ 時間外勤務手当

支給実績(平成26年度決算)	4,815 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)	229 千円
支給実績(平成25年度決算)	4,978 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成25年度決算)	277 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(26年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当(平成27年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(平成26年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)
扶養手当	5(6)参照	同じ	—	3,937 千円	187 千円
住居手当	5(6)参照	同じ	—	782 千円	37 千円
通勤手当	5(6)参照	同じ	—	606 千円	29 千円
管理職手当	5(6)参照	同じ	—	1,289 千円	61 千円
管理職特別勤務手当	5(6)参照	同じ	—	0 千円	0 千円



(2) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成25年度の総費用に 占める職員給与費比率
平成 26年度	千円 3,249,826	千円 △ 522,491	千円 1,332,975	% 41.0	% 38.3

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
平成 26年度	人 139	千円 529,594	千円 233,036	千円 190,865	千円 953,495	千円 6,860

(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
千円 6,789

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、平成26年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

平成17年3月6日に萩市、川上村、田万川町、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村が合併。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)

ア 医師

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
萩市	43.1 歳	456,733 円	1,367,582 円
団体平均	44.6 歳	564,750 円	1,389,096 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

イ 医療技術員

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
萩市	38.0 歳	294,263 円	484,408 円
団体平均	— 歳	— 円	— 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

ウ 看護師

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
萩市	36.1 歳	278,065 円	444,805 円
団体平均	38.8 歳	288,414 円	456,203 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

エ 事務職員

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
萩市	42.0 歳	316,037 円	542,902 円
団体平均	43.1 歳	328,980 円	502,010 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

### ③ 職員の手当の状況

#### ア 期末手当・勤勉手当

萩市（病院事業）			萩市（一般行政職）		
1人当たり平均支給額(平成26年度)			1人当たり平均支給額(平成26年度)		
1,298 千円			1,530 千円		
(平成26年度支給割合)			(平成26年度支給割合)		
期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当	
2.60 月分	1.35 月分		2.60 月分	1.35 月分	
( 1.45 )月分	( 0.65 )月分		( 1.45 )月分	( 0.65 )月分	
(加算措置の状況)			(加算措置の状況)		
職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20%			職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%		

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

#### イ 退職手当（平成27年4月1日現在）

萩市（病院事業）			萩市（一般行政職）		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	27.405 月分	勤続20年	20.445 月分	27.405 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)			その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)		
1人当たり平均支給額	968 千円	6,052 千円	1人当たり平均支給額	6,430 千円	21,858 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成25年度に退職した職員に支給された平均額である。

#### ウ 地域手当（平成27年4月1日現在）

支給実績(平成26年度決算)		15,085 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)		943 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
医師	15 %	16 人	- %

エ 特殊勤務手当（平成27年4月1日現在）

支給実績(平成26年度決算)		30,585 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)		220 千円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成26年度)		100.0 %	
手当の種類(手当数)		6種	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症予防救済手当		感染症の病床を担当	日額 290円
		感染症の病原体に汚染された物件を直接取り扱う	日額 200円
医学研究手当	院長	医学に関する試験研究業務等に従事	月額 40,000円
	副院長		月額 35,000円
	医師		月額 30,000円
	薬剤師		月額 6,000円
緊急呼出手当		勤務時間外に呼出を受け救急医療に従事	1回につき3,000円
放射線取扱手当	放射線技師	常例に放射線管理区域内で作業	月額 6,000円
		2時間以上放射線を使用する医療行為に従事	日額 230円
夜間看護手当	看護師	正規の勤務時間の一部又は全部が午後10時～翌午前5時の間に行われる看護等の業務に従事	1回につき3,300円(4時間以上)
			1回につき2,900円(2～4時間)
			1回につき2,000円(2時間未満)
救急患者特殊搬送手当	医師	ヘリコプターに搭乗し、救急患者搬送の業務に従事	1回につき1時間当たり2,470円(日没から日出まで)
			1回につき1時間当たり1,900円(上記以外の時間)

オ 時間外勤務手当

支給実績(平成26年度決算)	81,594 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)	587 千円
支給実績(平成25年度決算)	73,894 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成25年度決算)	560 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績25年度決算」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象としない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（平成27年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (平成26年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成26年度決算)
扶養手当	5(6)参照	同じ	—	14,874 千円	107 千円
住居手当	5(6)参照	同じ	—	15,814 千円	114 千円
通勤手当	5(6)参照	同じ	—	6,341 千円	46 千円
管理職手当	5(6)参照	同じ	—	13,790 千円	99 千円
管理職特別勤務手当	5(6)参照	同じ	—	0 千円	0 千円
宿日直手当	宿日直勤務をした職員に支給 ・医師 20,000円 ・看護師 5,200円	異なる	職種に応じて単価が異なる	14,594 千円	105 千円
初任給調整手当	5(6)参照	同じ	—	61,593 千円	443 千円
単身赴任手当	5(6)参照	同じ	—	0 千円	0 千円
夜間勤務手当	5(6)参照	同じ	—	8,726 千円	63 千円